



株主の皆様へ

第87期 事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第87期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

事業の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済の景気は、一部に弱い動きがみられるものの緩やかに回復しております。個人消費は、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスが回復しましたが、物価高の影響などから全体として弱い動きとなっております。設備投資は高水準の企業収益を背景に底堅く推移しております。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、2023年1月に前年比4.2%と約40年ぶりの高い伸びとなった後、政府の電気・都市ガス代に対する負担緩和策を受けて2月に3%台まで伸びが鈍化し、食料の伸びがピークアウトしたことなどから、9月以降は2%台で推移しております。政府は2023年5月の月例経済報告で、景気の基調判断を「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」から「緩やかに回復している」へ上方修正しましたが、11月に「このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」へ、2024年2月には「このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」へ下方修正しております。インバウンド需要は水際対策の解除や円安の影響で大幅に増加しております。

このような経済状況のもとで、当社グループのヘルスケア事業は、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」や「目もとパックシート」「口もとパックシート」といった、かねてよりインバウンド需要が高い製品の売上が復調傾向にあります。特に「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズス菌を配合した機能志向食品分野において、27年連続売上No.1を獲得し、今年は発売から30周年の節目を迎えました。

当社は、2024年2月より「仁丹」のリブランディングに取り組んでおります。当社の技術力や品質、真心や熱意、挑戦心が詰まった“モノづくりの魂の原点”であり、社名の一部でもある「仁丹」をより身近に感じていただくため、「巨大ガチャイベント」、「#タイムスリップ仁丹タクシー」と幅広い世代の方々とコミュニケーションをとるべく企画を実施いたしました。今後も引き続き、ステークホルダーの皆様とのリレーションを高めてまいります。

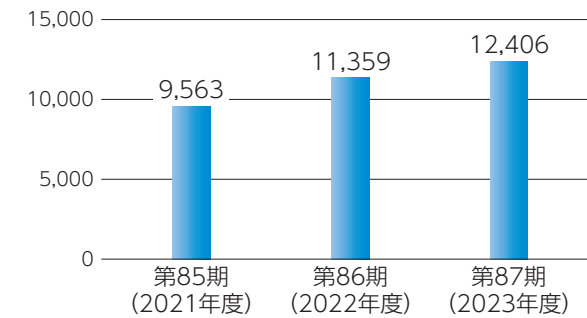
カプセル受託事業は、可食分野においてフレーバーカプセルの販売が、非可食分野においては化粧品用シームレスカプセルの販売が引き続き堅調に推移しております。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル製剤技術（大腸送達性製剤）の研究・開発を継続しており、製品化に向け、ターゲットとなるマーケットについても選定してまいります。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

また、2023年12月にはワダカルシウム製薬株式会社の製造部門が、会社分割により当社の100%子会社「株式会社MJ滋賀」として当社グループに加わりました。同社の食品、医薬品製造にかかる錠剤及び顆粒の製剤技術、製造、品質管理のノウハウを当社の持続的な成長及び企業価値最大化へつなげるべく、今後も事業を展開してまいります。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高12,406百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益716百万円（前年同期比25.8%増）、経常利益815百万円（前年同期比30.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益697百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

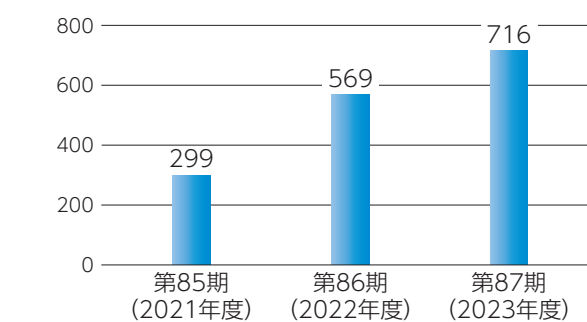
売上高

（単位：百万円）



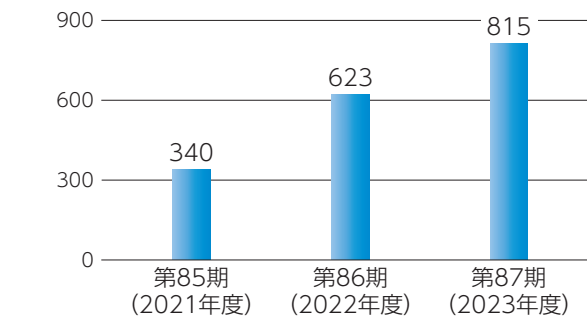
営業利益

（単位：百万円）



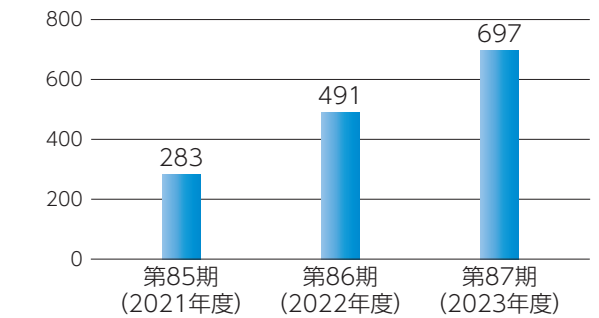
経常利益

（単位：百万円）



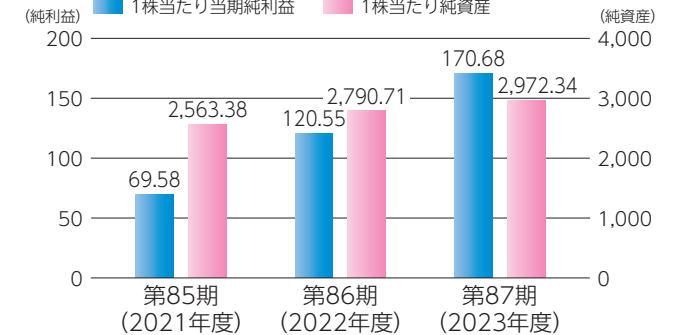
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



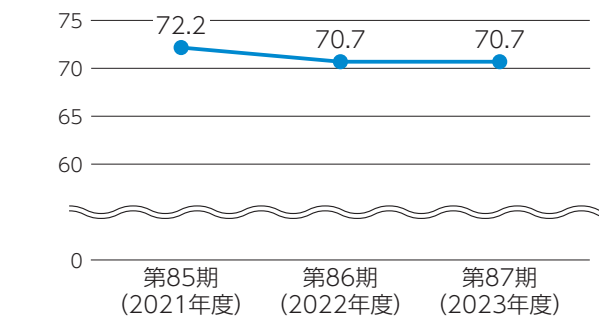
1株当たり当期純利益・純資産

（単位：円）



自己資本比率

（単位：%）



ヘルスケア事業

「セルフメディケーション」の推進を目指して



創業者・森下博は、「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。

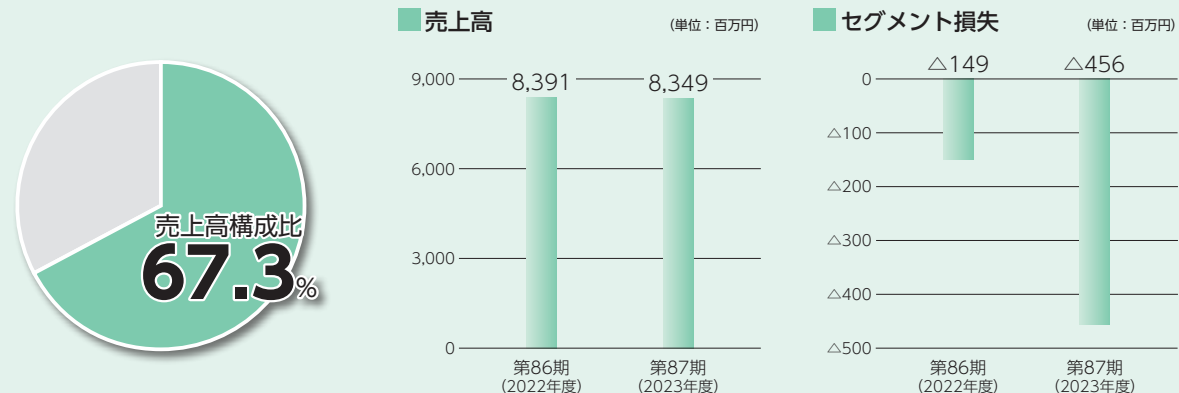
「健康とともに安心と安全をお届けする」この健康理念のもと、原料を厳選し、優良品を製造することを志とするその思いは今も受け継がれ、独自のシームレスカプセル技術とこだわりの品質の製品を、毎日健康で過ごしたいと願う全ての皆様にお届けしています。

■当期の概況

当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」をはじめとしたインバウンド需要と親和性の高い製品が復調傾向にあり、また現地代理店との連携によりアジア地域での売上も堅調に推移しております。

当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」や、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同期と比べ増収となりましたが、ジェネリック医薬品の販売が前年同期と比べ減収となり、売上高は、8,349百万円と前年同期と比べ42百万円の減収となりました。

損益面では、「仁丹」のリブランディングを目的とした戦略的プロモーションや一時的な在庫評価減による影響に加え、一部のジェネリック医薬品の自主回収に伴う費用を計上したことにより、セグメント損失は、456百万円と前年同期と比べ307百万円の減益となりました。



カプセル受託事業

医薬品から食品、産業用まで進化し続けるシームレスカプセル技術



「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発が始まり、今では当社のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」。

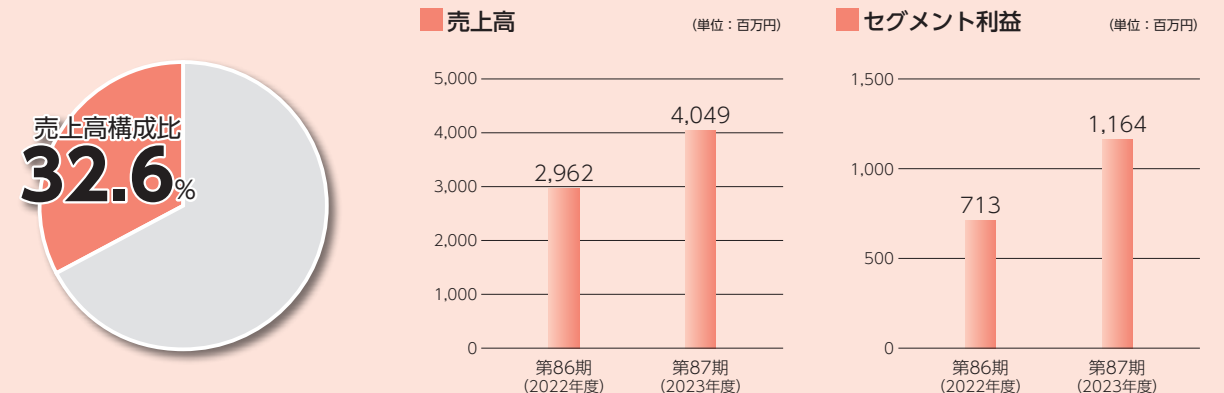
粉末、液体、微生物など様々なものを包むことができ、また、皮膜の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、食品、産業用まで様々な分野への展開が可能です。

■当期の概況

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの製造受託による売上が前年同期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルを用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、プロバイオカプセルの受託の販売が前年同期と比べ増収となっております。価格転嫁による影響もあり、売上高は、4,049百万円と前年同期と比べ1,086百万円の増収となりました。

セグメント利益は、1,164百万円と前年同期と比べ451百万円の増益となりました。



連結貸借対照表

	当 連 結 会 計 年 度 (2024年3月31日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (2023年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	7,053	7,145
現 金 及 び 預 金	1,092	2,409
受 取 手 形	411	484
売 掛 金	2,030	1,870
商 品 及 び 製 品	1,063	764
仕 掛 品	1,048	735
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,074	740
未 収 入 金	60	19
そ の 他	282	133
貸 倒 引 当 金	△11	△11
固 定 資 産	10,130	8,957
有 形 固 定 資 産	5,394	4,461
建 物 及 び 構 築 物	5,714	4,337
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,056	△3,036
建物及び構築物（純額）	1,657	1,301
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	5,957	5,443
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,963	△4,534
機械装置及び運搬具（純額）	993	908
土 地	2,150	1,891
建 設 仮 勘 定	162	57
そ の 他	2,123	1,790
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,692	△1,486
そ の 他 （ 純 額 ）	430	303
無 形 固 定 資 産	278	353
そ の 他	278	353
投 資 そ の 他 の 資 産	4,456	4,142
投 資 有 価 証 券	4,387	4,077
長 期 貸 付 金	5	7
繰 延 税 金 資 産	8	4
そ の 他	55	53
貸 倒 引 当 金	△0	△0
資 産 合 計	17,183	16,103

(単位：百万円)

	当 連 結 会 計 年 度 (2024年3月31日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (2023年3月31日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債	3,226	2,818
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,336	1,375
1年内返済予定の長期借入金	164	227
未 払 費 用	539	473
未 払 法 人 税 等	207	166
賞 与 引 当 金	225	207
設 備 関 係 支 払 手 形	155	68
そ の 他	596	299
固 定 負 債	1,813	1,892
長 期 借 入 金	106	242
繰 延 税 金 負 債	928	971
退 職 給 付 に 係 る 負 債	710	658
そ の 他	68	20
負 債 合 計	5,039	4,711
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	10,104	9,563
資 本 金	3,537	3,537
資 本 剰 余 金	969	968
利 益 剰 余 金	5,706	5,172
自 己 株 式	△108	△114
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	2,039	1,828
その他有価証券評価差額金	2,037	1,826
退職給付に係る調整累計額	2	1
純 資 産 合 計	12,144	11,392
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,183	16,103

(単位：百万円)

連結損益計算書

	当連結会計年度 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	前連結会計年度 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
売 上 高	12,406	11,359
売 上 原 価	6,408	6,047
売 上 総 利 益	5,997	5,311
販売費及び一般管理費	5,281	4,742
営 業 利 益	716	569
営 業 外 収 益	102	57
営 業 外 費 用	2	3
経 常 利 益	815	623
特 別 利 益	5	—
税金等調整前当期純利益	820	623
法人税、住民税及び事業税	263	176
法 人 税 等 調 整 額	△139	△45
当 期 純 利 益	697	491
親会社株主に帰属する当期純利益	697	491

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	当連結会計年度 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	前連結会計年度 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	196	1,179
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,152	△474
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△362	△433
現金及び現金同等物の 増 減 額（△は減少）	△1,317	271
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	2,409	2,138
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	1,092	2,409

(単位：百万円)

連結株主資本等変動計算書（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評価差額金	退 職 給 付 に 係 る 調整累計額	そ の 他 の 包 括 利 益 累計額合計	
当期首残高	3,537	968	5,172	△114	9,563	1,826	1	1,828	11,392
当期変動額									
剰余金の配当			△163		△163				△163
親会社株主に帰属する当期純利益			697		697				697
自己株式の取得				△0	△0				△0
自己株式の処分		1		6	7				7
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）						210	0	211	211
当期変動額合計	—	1	533	5	541	210	0	211	752
当期末残高	3,537	969	5,706	△108	10,104	2,037	2	2,039	12,144

TOPICS

1

明日のキレイは今日のナッツから。ナッツで「食養生」をはじめましょう。

仁丹の食養生 ヘルシーナッツ&フルーツ 新発売

当社は、健康食材であるナッツとドライフルーツが気軽に摂れる、仁丹の食養生®「ヘルシーナッツ&フルーツ」を、2024年3月1日に発売いたしました。必要な栄養を、今話題の健康食材であるナッツで手軽に摂り入れ、罪悪感なくおやつタイムを楽しんでももらいたい、素焼きナッツとドライフルーツをバランスよくミックスして手軽に食べてもらいたい、という思いから、食べきりサイズの個包装パックにしました。

不足しがちなビタミンE、鉄分、食物繊維、たんぱく質を補う、からだにうれしいおいしい仁丹の食養生®「ヘルシーナッツ&フルーツ」です。

【毎日選べる4種類のセット】



しよくようじょう
仁丹の食養生®とは

“私たちの体は毎日の食事からできている”

日々体内に摂り入れる食材や栄養は、健康を語る上でとても大切。毎日少しでも食に意識を向けることで、私たちの体は着実に変化していきます。食養生とは、私たちの健康にとって望ましい栄養を摂り入れることで体を養うことです。

からだにうれしい、おいしい。

仁丹の食養生

JINTAN・SHOKUYOJO



TOPICS

3

2024年4月～ 阪神タイガース サポートカンパニー契約

阪神タイガース岡田監督の生まれ故郷 大阪玉造の地に本社を置く当社は、CSR活動の一環として「阪神タイガース」とサポートカンパニー契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。当契約により、甲子園のベンチ内電話広告に、当社の看板商品である「仁丹」と大礼服マークを掲出することが可能になり、銀粒仁丹のリブランディング活動の一環にもなっております。

引き続き、阪神タイガースとの共創による企業広報、製品広報を展開することで、当社の認知及び企業価値向上を目指していきます。

協賛内容

- ・甲子園の1塁、3塁ベンチ内電話広告に当社広告を掲出
- ・「盗塁賞」「猛打賞」で「ヘルスイード®カシスアイ®」半年分(6袋)を提供
- ・阪神タイガース公式サイトでのスポンサー紹介
- ・コラボノベルティグッズとして、コットンエコバッグを製作
- ・「ウル虎の夏2024」協賛により、オーロラビジョンやライナービジョンでの広告掲出

この度のサポートカンパニーの契約を記念して株主の皆様へプレゼントとしてコットンエコバッグを同梱させていただきます。



コットンエコバッグ



ベンチ内電話広告

TOPICS

2

2月11日は「仁丹の日」

銀粒仁丹 森下仁丹の「仁丹」 明治時代から約120年間続く歴史の中でリブランディングを実施



オリジナル巨大ガチャイベント
の様子

2025年に発売から120周年を迎える「仁丹」は「ありたい自分へのパートナー」へ、よりあなたらしく健やかな毎日を応援するごきげんのおまもりとしてリブランディングを実施しています。

2024年3月9日～10日の2日間、大阪梅田にて銀粒仁丹を喫食いただくことでオリジナル巨大ガチャに挑戦できるイベントを開催しました。また、特別企画「#タイムスリップ仁丹タクシー」を実施。昭和時代の大阪ではタクシーの運転手が仁丹をお客さんに配っていた光景が見られたというエピソードにちなみ、昭和50年代の光景を車内で再現したタクシーが2024年3月11日～24日の期間、東京都内を走行し、仁丹のサンプリングを実施しました。



「#タイムスリップ仁丹タクシー」



タクシー車内のようす

「銀粒仁丹」ブランドサイトリニューアル <https://www.ginryu.jintan.jp/>

TOPICS

4

「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。

当社の認定は、健康経営優良法人としては6年連続であり、大規模法人部門での認定は3年連続となりました。

今後も当社は、従業員一人ひとりの健康意識をさらに高めていくとともに、健康維持・増進を支援する健康施策や職場環境づくりなどを通し、健康経営を実践してまいります。

森下仁丹「健康宣言」(コーポレートサイト内)

<https://www.jintan.co.jp/corp/health/>



商 号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.

資 本 金 35億3,740万円

事 業 の 内 容 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、並びに食品などの製造及び販売

事業所及び工場

本 社 大阪市中央区玉造一丁目2番40号 電話 (06) 6761-1131 (代表)

大阪テクノセンター 大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号 電話 (072) 800-1040

滋 賀 工 場 滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12 電話 (0749) 48-7370

東 京 オ フ ィ ス 東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F 電話 (03) 6206-8138

役 員 (2024年6月26日現在)

代 表 取 締 役 社 長	森 下 雄 司	取締役 (社外取締役)	石 原 真 弓
取 締 役	吉 田 秀 章	(監 査 等 委 員)	
取 締 役	末 川 久 幸	取締役 (社外取締役)	石 黒 訓
(社 外 取 締 役)		(監 査 等 委 員)	
取 締 役	河 崎 保 徳	常 務 執 行 役 員	石 田 英 嗣
(社 外 取 締 役)		執 行 役 員	地 主 紀 之
取 締 役	大 城 広 明		
(常 勤 監 査 等 委 員)			



株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 9,600,000株

発行済株式の総数…………… 4,150,000株

株主数…………… 5,508名

大株主の状況 (2024年3月31日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社森下泰山	1,095	26.8
ロート製薬株式会社	355	8.7
公益財団法人森下仁丹奨学会	211	5.2
株式会社三菱UFJ銀行	132	3.2
日本生命保険相互会社	111	2.7
株式会社ラクサン	106	2.6
株式会社徳島大正銀行	88	2.2
森下仁丹取引先持株会	58	1.4
三菱UFJ信託銀行株式会社	51	1.2
ピップ株式会社	43	1.1

(注) 当社は、自己株式64,182株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期 末 配 当 金 3月31日
受領株主確定日 (中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公 告 の 方 法 電子公告 (https://www.jintan.co.jp/ir/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。

是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報